

講義名	英語 B（総合）				
担当教員	Moore Mark				
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 4 時限		授業形態	講義	
履修開始年次	1 年生	単位数	2	備考	
主題と概要					
今まで習得した語彙や文法知識を活用し、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを身近な話題や、世界的な視野から学ぶ。授業では、日常的な場面を疑似体験しながら、ペアワークなどを多数取り入れた実践演習を行い、英語を理解した上で能動的、且つ簡潔に自分の考えを伝えたりする等、基礎的な英語コミュニケーション能力を高める。					

教科書				
.Berlitz English for University Students book 1, 4th edition.		Berlitz Japan., Inc.	約2,500円	
プリント資料及び参考文献				
必要に応じて授業中に指示します				
授業計画				
1. オリエンテーション/Unit 1: 自己紹介 2. Unit 2: 他者を紹介する 3. Unit 3: 食べ物について話す 4. Unit 4: レストランで注文する 5. Unit 5: 日常について話す 6. Unit 6: 学生生活や将来について話す 7. Unit 7: レビュー 8. Unit 8: 着身の服装について話す 9. Unit 9: 買い物をする 10. Unit 10: 天候について話す 11. Unit 11: 旅行の計画を立てる 12. Unit 12: 場所の説明をする 13. Unit 13: 道を尋ねる/道案内する 14. Unit 14: レビュー 15. Unit 15: 問題演習				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク	
○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
宿題や課題・教師が課したすべての課題を行うこと(1時間) 復習・前の授業の内容を読み、まとめて下さい。不明な語彙や文法は必ず調べ、発音練習をすること。（1.5時間） 予習・次の授業までに、不明な語彙などを調べ、まとめておくこと。使い方などは積極的に講師に質問して下さい。（1.5時間）				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」ようになるべく、英語の4技能のうち「聞く」・「話す」を中心とした実用的かつ基礎的な語学力と海外の社会や文化について知識の修得を目標とする本科目の履修によって、商学部生・経済学部生に求められる「課題提案」能力、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化」に対する理解を深め、「コミュニケーション能力」の育成を目指します。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
クリッカー（Respon）や携帯端末等の講義内での利用は予定していません。				
実務経験の有無及び活用				
備考				